

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるメソディニウム・ルプラムが最大1細胞/mL確認されました。

柱状採水（0~10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、魚類に対して有害なシャットネラ属が小筑紫中央で0.01細胞/mL確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	メソディニウム・ ルプラム
A 藻津 (15m/37.7m) 【09:23】	0	23.9	34.1	5.9	0	0
	5	23.9	34.1	6.0	0	0
	★ 10	23.9	34.1	6.0	0	0
	15	23.9	34.1	5.9	-	-
	20	23.9	34.1	6.0	-	-
B 宇須々木 (13.6m/27.3m) 【09:16】	0	23.8	34.0	6.0	0	0
	★ 5	23.8	34.0	6.0	0	0
	7	23.8	34.0	6.0	0	0
	10	23.8	34.0	6.0	0	0
	15	23.8	34.0	6.0	-	-
	20	23.8	34.0	6.0	-	-
C 大島中央 (13m/32.1m) 【09:32】	0	23.8	34.1	6.2	0	0
	5	23.9	34.1	6.2	0	0
	★ 10	23.9	34.1	6.2	0	0
	15	23.9	34.1	6.2	-	-
	20	23.9	34.1	6.2	-	-
D 小筑紫中央 (14.2m/48.8m) 【09:43】	0	23.8	34.0	6.2	0	1
	5	23.9	34.0	6.2	0	0
	★ 10	23.9	34.1	6.2	0	1
	15	23.9	34.1	6.2	-	-
	20	23.9	34.1	6.2	-	-
E 真珠 (10.2m/31.5m) 【09:05】	0	23.8	34.0	6.1	0	0
	5	23.9	34.0	6.1	0	0
	★ 10	23.8	34.0	6.1	0	0
	15	23.8	34.0	6.1	-	-
	20	23.8	34.0	6.2	-	-
F シラハエ (11m/38.4m) 【09:57】	0	23.4	33.7	6.3	0	0
	5	24.1	34.1	6.1	0	0
	★ 10	24.1	34.1	6.0	0	0
	15	24.1	34.1	6.4	-	-
	20	24.0	34.1	6.4	-	-

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	メソディニウム・ ルプラム
G 立石 (10.2m/24.8m) 【10:08】	0	23.4	33.6	6.4	0	0
	5	24.1	34.1	6.2	0	1
	★ 10	23.9	34.1	5.9	0	0
	15	23.9	34.1	5.9	-	-
	20	23.9	34.1	6.0	-	-
H 一切田 (7.4m/22.2m) 【10:35】	0	22.9	33.2	6.3	0	0
	★ 5	24.0	34.0	6.2	0	0
	10	24.1	34.1	6.1	0	0
	15	24.1	34.1	6.2	-	-
	20	24.0	34.1	6.2	-	-
I 栄喜奥 (6.4m/13.9m) 【10:17】	0	22.8	33.2	6.4	0	0
	★ 2	23.2	33.7	6.3	0	0
	5	23.9	34.0	6.1	0	0
	10	24.1	34.1	6.1	0	0
J ヒロウラ (6.2m/25.4m) 【10:45】	0	23.4	33.7	6.1	0	0
	★ 5	23.8	33.9	5.9	0	0
	10	24.1	34.1	6.2	0	0
	15	24.1	34.1	6.2	-	-
	20	24.1	34.1	6.3	-	-
K 青瀬山 (8m/17m) 【10:26】	0	23.6	33.6	6.3	0	0
	★ 2	24.3	34.1	6.3	0	0
	5	24.2	34.1	6.3	0	0
	10	24.1	34.1	6.0	0	0
	15	24.1	34.1	6.2	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：<https://kmi-nabra.s.pref.kochi.lg.jp>)においてもご覧いただけます。

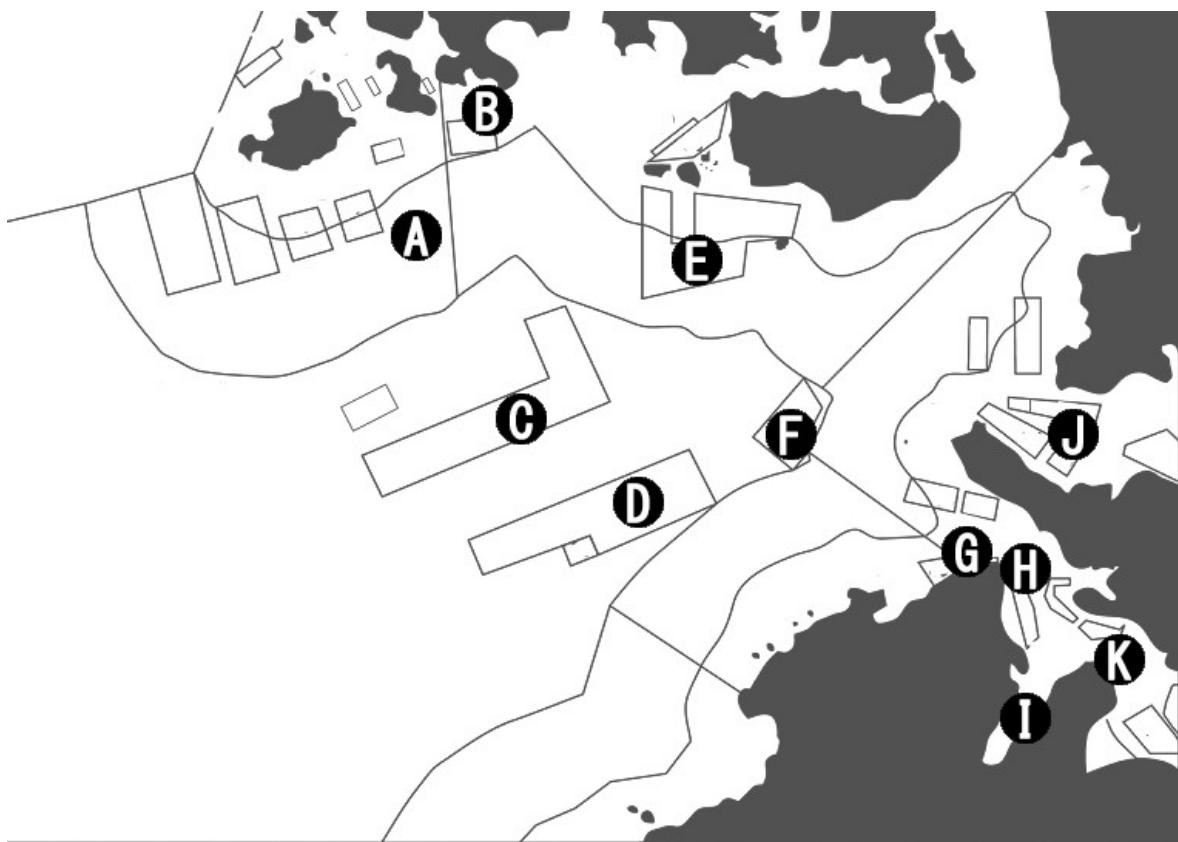
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5~6月

※1 注意基準：餌食の悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: 藻津 E: 真珠 I: 栄喜奥
B: 宇須々木 F: シラハエ J: ヒロウラ
C: 大島中央 G: 立石 K: 青瀬山
D: 小筑紫中央 H: 一切田